



高専通信

2012/07

Vol. **5**

TOYAMA National College of Technology

☐ CONTENTS

- 02 校長・副校長ご挨拶
- 03 富山高専ヘッドライン「平成24年度入学式」
- 04 新入生を迎えて
- 06 新入生の声
- 08 専攻科レポート
- 09 日本で学ぶ ～外国人留学生から～
- 10 学生会活動
- 12 学生寮から
- 14 新任教員紹介/学級担任一覧
- 15 News & Topics





ご挨拶 ー金環日食に思うー

校長 米田 政明

2012年5月21日(月)の朝、日本で金環日食が観測されました。残念ながら富山では金環とはなりませんでした。今回のように広域で金環日食が観測されるのは、実に932年振り、次回は300年後になるらしい。「なるらしい」ではなく、「なる」と言い切ってよいのです。科学技術の進展によって天体の運動は精密に分析され、正確に予測できることに驚かされます。テレビ中継のアナウンサーが「〇〇時×分△△秒に太陽が欠け始めます」と話した通り、1秒の狂いもなく、その△△秒に欠け始めた太陽に驚いたものです。太陽のリングも素晴らしいが、天体ショーが予測通りに進行する科学技術の成果に私は感動を覚えました。

日本は科学技術立国です。長引く不況もあり、グローバル化が急速に進んで多くのものづくり企業が製造拠点を海外にシフトしています。いわゆる技術の空洞化が懸念される中であって、仮に経済大国の看板を降ろすことがあっても、日本は科学技術立国の看板を降ろしてはいけません。日本の生命線は科学技術であり、それを担う技術者です。高専は「創造性に富む実践的技術者を育成する高等教育機関」ですが、高専で技術を学ぶ学生は、その技術の基礎となる理論も学ぶことができます。この部分が、高専教育の最大の特徴なのです。

富山高専生には科学に裏付けられた技術をしっかりと学び、日本を支える人材に成長してほしいと願っています。そのために、教職員一同、最大限の努力をしていきます。



高専で 何を学ぶか

本郷キャンパス副校長
丁子 哲治

「暗黙知」という言葉があります。言葉に置き換えることができない知識のことを言います。一方、このような「暗黙知」を人類は永年に渡って科学技術の知恵でことばに置き換えたものが「形式知」です。このような「形式知」が知識のすべてであれば、教科書を勉強すれば済むことでしょう。しかし、人から人へ言葉以外の方法で直接伝えられる「暗黙知」は未だにたくさんあります。「形式知」ばかりではなく「暗黙知」を学ぶところが高専です。実験・実習が多いのはそのためです。

グローバル化が進む今日、指示待ち人間ではなく『前に一歩踏み出せる力』や、マニュアル人間ではなく『考え抜く力』、さらに、一匹オオカミではなく『チームで協力する力』を身につけた人が望まれています。このような力は、頭と体を使って培われる力なので、「暗黙知」です。高専では、「暗黙知」と「形式知」とがバランスよく身につくようになっていきますので、これらを意識して勉強してください。



充実した高専生活を送るために

射水キャンパス副校長
成瀬 喜則

高専では、豊かな教養と人間力を身につけること、エンジニアやビジネスパーソンとして活躍するために必要な技術力と課題解決力を身につけることを目的としています。

そのために、5年間を有意義に使いながら学んでいくことが必要です。常に、「なぜこうなるのだろう」という気持ちを持ち、「わかった」「できた」という実感を持つことができるように、授業や実験実習に取り組んでほしいと思っています。また、部活動や学校行事にも積極的に取り組み、豊かな人間力を身につけることも必要です。

さらに、最近では、国際性を身につけることも重要になっており、海外での研修や、海外からの学生との交流にも積極的に参加してほしいと思います。

学生生活で何よりも大切なことは、夢と目標を持って日々を送ることです。そして、卒業するときに、何か一つやり遂げたと思うことがあれば、生涯にわたって財産になることでしょう。夢は一人一人違いますが、将来の姿を描きながら努力してほしいと思っています。



平成24年度

入学式

Entrance Ceremony

平成24年度入学式
5年間のキャンパスライフがスタート

4月4日、平成24年度入学式が富山県民会館ホールにおいて挙行され、学科生266名、留学生3名、編入学生1名、専攻科生45名の315名が入学しました。

米田校長からは、「創意・創造、自主・自律、共存・共生の教育理念のもと、第3期生として誇りを持ち、新高専の歴史に素晴らしい足跡を残してくれることを期待しています」という式辞がありました。

式辞に続き、学科新入生を代表して、電気制御シ

ステム工学科の須田龍星さんが、「これから始まる学校生活に希望を持ち、専門性の高い知識や技術力を身につけていきたい」と、高専生としての抱負を述べました。また、専攻科新入生を代表して、国際ビジネス学専攻の門愛莉さんが、「これからのグローバル社会において即戦力となるよう、常に自ら積極的に考え行動し、人生の糧となる経験を積めるよう日々精進し続けます」と、力強く宣誓しました。

平成24年度新入生数

学科新入生 266名

機械システム工学科	47名
電気制御システム工学科	43名
物質化学工学科	48名
電子情報工学科	41名
国際ビジネス学科	50名
商船学科	37名

外国人留学生(3年次編入) 3名

編入学生(4年次編入) 1名

専攻科新入生 45名

エコデザイン工学専攻	25名
制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学専攻	9名



学科新入生代表宣誓



専攻科新入生代表宣誓



コーラス部による校歌披露



初めての校歌練習

新入生を迎えて Welcome to Toyama Kosen!!



本郷キャンパス

新入生に 宇宙の話題

1学年主任 数学担当

藤堂 最音

2年生以上の人は昨年本校の講演会で、「はやぶさ」の活動、つまり小惑星イトカワの観測のプロセスを直接JAXAの担当者から聞くという貴重な経験をしました。

「はやぶさ」のもすごい話ですが、日本の宇宙観測技術全体も世界で最高レベルにあるということを聞きます。日本のマスコミはなぜかあまり伝えません。science writerが少ないからでしょうか。

太陽観測衛星「ひので」による太陽の観測。搭載されている望遠鏡はそれまで最高のものの2秒角程度に対して1桁違う精度であり、撮れる画像はきわめて鮮明。そのデータはすぐに公表され、世界中で太陽研究の論文を大量に産み出す原動力になっているといいます。

その耐熱安定性を保証しているのが、たとえば日本の炭素繊維複合材料であり、NASAが長い間開発しようとしていたものです。

もう一つ、国立天文台のすばる望遠鏡を使って50光年かなたの系外(太陽系外)惑星を直接撮影しているという話題もあります。

学校の試験はせいぜい百点満点。その外の広大な世界にも目を向けましょう。



本郷キャンパス

数学は 「工学の共通言語」

電気制御システム工学科担任 数学担当

河原 治

私が今年担当している科目は、1年生の数学Aと数学B、2年生の線形代数、4年生の応用数学です。中でも1年生の数学には、特に力を入れて授業をしています。というのも、工学系の学科に関しては、専門科目を学ぶための基礎として「数学」は特に重要だからです。そして、その導入である1年生で数学が好きにさえなれば、後で専門科目を学ぶときにはそれほど苦労しなくて済むようになるからです。

「高専の数学は大変である」とよく言われますが、それは単に、工学の専門科目を学ぶための基礎知識として、少し早めに数学の広い範囲を学ぶためです。実際に3年生にもなると、大学レベルの専門科目の講義が普通に行われています。専門科目の教科書を開いてみると至る所に数式が散りばめられており、まるで「数学という言語」で書かれているかと思うくらいです。すなわち、専門科目を理解するためには、その「共通言語」としての数学を3年生までにある程度学んでおく必要があるのです。だからこそ、数学には特に力を入れて勉強してほしいと思っています。



本郷キャンパス

過去と未来との 対話

機械システム工学科担任 歴史担当

瀬戸 薫

「今年の1Mは四十七士です。1人も欠けることなく、卒業しましょう」。

入学式直後の私のこの言葉を理解してくれたのは、僅か2人でした。忠臣蔵はもちろん、水戸黄門も遠山の金さんも、今の10代は知らないのです。

高校段階で自国の歴史を必修にしていない国は日本だけです。しかし、神奈川県に次いで、今年は東京都も必修化し、既に富山県も試行段階に入っています。

湯川秀樹氏以前の日本人科学者が、ノーベル賞の受賞対象から外されていたのは、「人種差別」だったと知るのも歴史です。それでも米国は日露戦争から2年後に、日米戦争の作戦を立案しています。その3年後には、富山でイタイタイ病が発症しました。原因が認定されたのは60年後ですが。

自国の歴史を誇れずに、真の国際交流は実現しません。科学技術は必ずしも人間を幸せにはしませんが、幸せにすることを信じて発展してきたのは事実です。「歴史とは過去と未来との対話」です(E.H.カー)。過去を知ること、で、諸君が素晴らしい未来を切り拓いてくれることを希っています。



本郷キャンパス

自分を「外」へ 開くということ

物質化学工学科担任 国語担当

足立 繭子

福島原発事故以来明らかになったことがらの一つに、技術者や研究者と呼ばれる人々のひとりびとりの良心がその後の出来事の流れを大きく変えたかもしれない、ということがあります。専門性を求めることに伴う陥穽に陥っていることに気づかぬ井の中の蛙でいては、もはやこの未曾有の事故の後を引き受ける真の技術者や研究者にはなれないということです。自分の技術や研究、自分の携わる業務が、社会のどのような人にとって、どのような意味を持ちうるのか、自身を「外」から眺めることのできるような視点を培ってほしいと思います。そのためには、いわゆる学校の「お勉強」だけに安住するのではなく、社会や世の中といった、自分や学校を取り巻く「外」の出来事に敏感になり、学校の「外」へ出てさまざまな人と交わり、そうして得た多くの情報の中から真に必要な情報を掘り取る知恵や技術をごそ磨いてほしいと思います。こういうわけで、新入生の皆さんには、今後5年の長きにわたる高専生活の中で、ぜひ自分を「外」へ開いてほしいと思うのです。



射水キャンパス

未知との遭遇

1学年主任 英語担当
金川 欣二

みなさんは「ゆとり教育」の中で学力不足だといわれたことがあるかもしれません。ところが、学力を英語で言おうとしたら適当な訳語が見つかりません。

ネット社会では調べようと思えば何でも調べられます。特定の事柄について、もしかしたら教師よりも詳しくなれます。専門家から直接、話を聞くことさえ可能です。

e-learningが発達し、ネットでハーバードの講義なども公開されていますが、学校もいらないのでしょうか？

社会というのは人間どうしのつながりでできています。学校ではその触れあいを学ぶので、どんなに科学技術が発達しても学校というのは決してなくならないと思います。

では、学力とは何でしょうか？それは自ら「学ぶ力」なのです。決して、人から与えられる力ではありません。自身が勝ち取る力なのです。学びは誰も妨げることも、奪い取ることもできません。

無知に気づき、未知を求める。食欲に、倦むことなく。



射水キャンパス

バタバタせずに どっしりと学ぶ

国際ビジネス学科担任 英語担当
西原 雅博

君たち50人はこれからの5年間を同じクラスで過ごします。この50人がかけがえのない仲間となって全員で卒業していくことが私の願いです。1年生合宿研修や球技大会、カッターレース大会、そして、日常のホームルーム活動を通してフレンドシップを作り上げてほしいと思います。第1学年はそのための基礎作りです。

この「基礎」には勉強に対する構えづくりも入ります。それは、将来どこで役に立つかわからないから学ぶのだという構えです。逆説のようですが、「役に立つ知識」では一生持ちません。えり好みをせず、学べることを有り難いと謙虚に思い、苦手な勉強でも努力しておくことが大事です。そして、「役に立つ知識」ばかりを求める人材よりもそうした謙虚さを持つ人物の方を人間社会は求めています。君たちの人生は長い。「あのときもっとやっておけばよかった」という回想は多くの人の実感です。今はバタバタせずにどっしりと学んでください。



射水キャンパス

仲間とともに

電子情報工学科担任 数学担当
櫻井 秀人

1年生のみなさん、学校生活には慣れてきたでしょうか。新しい仲間たちとこれから5年間を共に過ごしていきます。10代後半にかけてこの多感な時期に5年間も苦楽を共にする仲間がいるということは、今後の人生の中で掛け替えのないことです。何よりもクラスの仲間を大切にしてください。40人前後の人が集まれば、その中には様々な考えを持った人たちがいることでしょう。考え方の近い人、遠い人。すぐに友達になった人、なかなか友達になれなかった人、ずっと友達になれない人もいるかもしれない。それでもこれから5年間ずっと一緒です。楽しいとき、苦しいとき、悲しいとき、うれしいとき、全てを共有する仲間です。うまく理解し合えないこともあるでしょう。喧嘩をすることもあるかもしれない。思いもよらず仲良くなることもある。大好きになることもあれば、大嫌いになることもある。これから5年間を共にする仲間がいつでも側にいます。それを意識してください。忘れないでください。全員が仲間です。その中の1人としてみなさん自身がいます。



射水キャンパス

少年少女よ 大志を抱け

商船学科担任 国語担当
近藤 周吾

夏目漱石の『三四郎』の中で、広田先生は若い三四郎にこう言います。「熊本より東京は広い。東京より日本は広い。日本より……」ここで切って、こう続けました。「日本より頭の中のほうが広いでしょう」と。「日本より世界」とならないところに、漱石一流の皮肉が効いています。

〈いま・ここ〉で満足しないでほしい。現状維持で満足しないでほしい。「温故知新」という言葉があります。過去に学び、未来に生かす生き方を目指してください。「和魂洋才」という言葉もあります。主体性を失わず、他者の良さを積極的に摂取できる人になってください。しかし、時には立ち止まることも必要です。ひたすら上昇し、版図を拡大することは不可能なのですから。最後は、自分自身の「頭」や「心」と向き合うことが大切なのではないでしょうか。若いころの努力は一生ものと言います。ぜひ本物の知識と知恵と知性を身につけて、世界より広い人間になってほしいと期待しています。

新入生の声

Students' Voice!!



最高の クラス紹介

機械システム工学科
跡治 慎也

5 月14・15の両日に、能登青少年交流の家で実施された合宿研修は、クラスのみならず楽しく活動できただけでなく、他の学科の学生とも仲良くなれたので、大変充実したものになりました。

初日のオリエンテーリングは、知らない人ばかりの班で最初は不安でしたが、皆で協力し合って9つ全てのポストを探し当てて9点満点でゴールできたのが、とても嬉しかったです。

一番楽しかったのは、初日の晩のクラス紹介です。射水キャンパスのダンスも凄かったけれど、私たちはしっかりクラス紹介を織り交ぜた上に笑いも取れたので、自分では最高の出来だったと思います。「『アンパンマン体操』を踊るなんて何故ブライドを捨てなきゃいけないのか納得できない」と反対する人もいましたが、終わってみればみんな達成感にあふれていました。これも、クラスをまとめ全力で踊りを教えてくれた寮生の頑張りのお陰です。頼りになった寮生に感謝！

協力することの大切さを教わった合宿研修の成果を、クラス全員で共有し、さらに仲良く楽しいクラスにしていきたいです。



合宿研修を 終えて

電気制御システム工学科
高澤 真基

今 回の合宿では、さまざまな活動がありましたが、中でも特に印象に残ったものについて書きます。一つはクラス紹介です。クラス紹介では、会場の盛り上がった雰囲気が、何よりも印象に残っています。各学科のダンスや劇などはどれも楽しいものばかりで、とても思い出に残りました。自分達は、一番最後に写真と声でクラス紹介をしました。楽しんでもらえるか不安でしたが、どうやら楽しんでもらえたようで良かったです。

もう一つは、2日目のレクリエーションです。ドッジビーは、初めてのスポーツでしたが、他の学科の人と楽しんで競い合えたので、良かつ

たです。三人四脚も初めてやる競技でした。他の二人と歩幅やスピードを合わせるのが大変でした。自分はスポーツが得意なほうではないので、レクリエーションを楽しめるか不安でしたが、とても楽しんで取り組みましたので良かったです。こうした活動を通して、多くの学生と親睦を深められたと思います。



入所式



技術者への 第一歩

物質化学工学科
白川 和

中 学3年の進路選択で人生初の大きな決断を迫られた私は、多くの同級生たちとは異なる、高専進学という道を選びました。就職率の高さや設備の良さなど、高専の魅力はいろいろありましたが、私にとっては、公開講座やオープンキャンパスで興味深い実験を見学したことが、高専を選ぶ一番の決め手になりました。

今年の入試から県立高校との併願が可能になったため、クラスメイトは皆高倍率を突破した精鋭です。入学した当初はそんな環境に自分が馴染めるのか不安でしたが、今では日を過ごすごとにクラスメイトとの仲が深まるのを実感できます。5月の合宿研修のクラス紹介で披露した寸劇でも、クラスとしての結束力を十分にアピールできたと思います。

これから私たちは、5年間かけて、技術者として必要な知識を身につけ、ものづくりについて幅広く学んでいきます。将来直面するであろう困難を想像すると不安になりますが、地域社会に貢献できる技術者を目指すという高い志を掲げ、仲間と共に日々努力を重ねて、未来へ突き進んでいきたいと思っています。



校歌練習



抱負

電子情報工学科
水島 大地

私は、これからの5年間の目標として、夢に向かっての勉学の他に、友達をはじめ高専の先生方や地域の人々、初対面の人などのコミュニケーション能力をつけていきたいと思います。それは今の高専生に求められていることであり、社会に出た際に、日本国内や他国の企業と協力し合う場合や、時には勝負するにあたってとても必要なことだと思います。そのために、学校生活の中で、仲間と共に目的を共有してひとつのことを行っていきたいと思います。なかでも、学校行事や部活というのは、一番コミュニケーション能力をつけることができるものだと思います。

5年間日々を精一杯取り組むことにより、勉学で得た技術とコミュニケーション能力を武器に、世界を股にかけるエンジニアとなれるよう努力していきたいと思います。



高専生になって

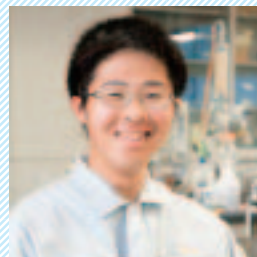
国際ビジネス学科
釣谷 千紘

私は、叔母からの勧めがきっかけでこの学校に興味を持ち、オープンキャンパスに参加しました。授業内容や部活動の雰囲気などがなんとなく自分に合っているだろうと思い、この学校への進学を決めました。

入学してから約1カ月経ち、初めてのことがばかりで不安だった高専生活にも慣れた今、高専に入学して良かったと強く思っています。90分の長い授業や英会話の授業などは大変ですが、それを上回るほどの

先生方や先輩方の温かさ、優しさのおかげで毎日の学校生活に楽しみを見出せるようになってきました。

これから5年間、様々なことを学んでいきます。それは学問的なことかもしれませんが、精神的なことかもしれません。いずれにしろ、今抱えている新鮮な気持ちを忘れずに学んでいきたいと思っています。



1年生合宿研修に参加して

商船学科
盤所 豪

5月14・15日、国立能登青少年交流の家で、本郷・射水両キャンパス合同の、新入生合宿研修がありました。

1日目には、オリエンテーリングをやりました。私たちの班は、最後まで行けなくて残念でしたが、みんなが楽しんで、キャンパスも学科も関係なく、みんなと仲良くなれたのでよかったと思います。

夜には校歌の練習と、みんなが楽しみにしていたクラス紹介がありました。どのクラスも特色のある出し物ばかりでした。個人的には物質化学工学科の劇が面白かったです。私たち商船学科も、一生懸命練習し、2種類のダンスを披露しました。

私たちのクラスは、男女とも、就寝時間になっても寝ずにうるさくしていたため、担任の近藤先生から雷を落とされました。これだけが反省点で、今後は学生生活を楽しむためにも、オンとオフの切り替えをきちんとしていこうとみんなで話し合いました。

2日目は、体育館でレクリエーションをしました。ドッチビー、三人四脚リレー、物干し竿リレーをしました。これもみんな楽しんでいました。

退所式のあと、午後からは能登島水族館に行きました。天気が雨なものと、時間が短いのが少し残念でしたが、イルカショーなどが見られて良かったです。

この研修を通じて、キャンパス関係なく、仲良くなれたのが何よりの収穫でした。これからも、同じ学校の一員として、みんなで仲良く、富山高専を盛り上げていきたいです。



対戦前にクラスで円陣！



ロボットと車いすによる協調段差移動(池田研究室)



高専女子フォーラム経営系コーナーにて研究発表(宮重研究室)

本校の専攻科について



専攻科長
篠川 敏行

本校の専攻科は本郷キャンパスの工学系のエコデザイン工学専攻、射水キャンパスの工学系の制御情報システム工学専攻・人文社会系の国際ビジネス学専攻・商船系の海事システム工学専攻の4専攻で構成されており、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材を育成しています。審査により、4年生大学と同様に「学士」の学位を取得できます。また、工学系のエコデザイン工学専攻と制御情報システム工学専攻は日本技術者教育認定機構(JABEE)に認定された教育プログラムを行っています。

世界に通じる技術者の育成を目指して



副専攻科長
西 敏行

本郷キャンパスでは、専攻科に「エコデザイン工学専攻」が置かれています。その中には、「機械・電気システム工学コース」と「機能材料工学コース」があります。「機械・電気システム工学コース」では、機械と電気の両方の知識を有する技術者、「機能材料工学コース」では、化学と材料の知識を有する技術者の育成を行っています。修了後は、大手企業への就職や大学院へ進学しており、それぞれ高い評価を頂いています。専攻科では、今後とも世界に通用する技術者の育成を目指していこうと考えています。



研究の深化をめざして

エコデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース1年
政木 勇人

私が専攻科への進学を決めた理由は、自らの研究を深めたいと思ったからです。卒業研究では所属研究室において、やりがいをもって自分の興味のある研究を行うことができました。この恵まれた環境で自らの研究をより長く深く進めたいと思っています。また、他学科の専門的な授業が研究の深化の助けになることを期待しています。専攻科での2年を有意義に使い、後の自分の夢に向かって踏み出していくつもりです。



専攻科で目指すこと

制御情報システム工学専攻1年
宮田 大暉

専攻科の短い期間で目指すことはいかにして自分の考えを実現するかです。この理由は本科の卒業研究において自分の考えを具現化する過程で多くの問題が発生し、それに対処し始めた時にはさらに想定していないことが起こり、何かを実現させることの難しさを知ったためです。これは能動的に取り組んだ卒業研究であったからこそ気づけたことなので、このことを意識して専攻科の授業や研究に取り組みたいと思っています。

日本での大家族生活

私はマレーシアから来ましたハフィズと申します。13人兄弟の10番目で非常に大家族の中で生まれ育ちました。日本とは異なり、マレーシアではこのような大家族の家庭が非常に多いです。異国の地に家族と離れて暮らすのは不安でしたが、仰岳寮ではマレーシアに居た頃のように学生それぞれが家族のように生活することで楽しく過ごしています。まだ日本や富山高専についてわからないことばかりですがどうぞよろしくお願いします。

機械システム工学科3年

モハマド・アミルル・ハフィズ・ビン・イスマイル(マレーシア出身)



自己紹介

私の名前はマニーウォン・ドゥアンチャックと申します。出身国はラオスです。今3年生の電気制御システムを勉強しています。私の趣味はマンガを読んだり、音楽を聴いたりすることで、好きなスポーツはバレーボールです。子供の頃、エンジニアの父のようにになりたいという夢を持っていたので、この学科を選びました。勉強が大変ですが、問題があったとき、日本人の友達がいつも親切に教えてくれるので、これからも頑張りたいと思います。それに、富山にいる間にいろいろな所へ旅行に行きたいと思っています。

電気制御システム工学科3年

マニーウォン・ドゥアンチャック(ラオス出身)



日本について

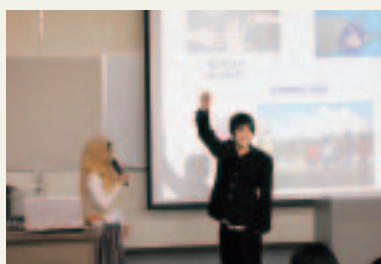
私が初めて日本の空港に着いて本当にびっくりしたことは、まずイミグレーション(入国審査)がちょっと厳しいことです。でも何も問題がないと処理が早く行われます。そして、トイレがきれいなことです。危険な感じがありません。軍隊がいません。とてもすごい事だと思います。次は、お店がきちんとして、明るくきれいです。包装が早くて丁寧、笑顔で対応してくれて、てきぱきしています。レジが早い上につり銭の間違ひがありません。その上、日本のどこでも自動販売機があります。とても便利です。他には、日本人は時間を必ず守っていますから、私も必ず同じ事を心がけます。最後に、日本に住んでいる事をもっと楽しみたいと思います。

物質化学工学科3年

チェ・シティ・ノリダユ・ビンティ・チェ・モハマド・ザイド(マレーシア出身)



"Let's Walk Through Asia" を出展
(高専祭留学生コーナー)



インドネシアのじゃんけんを体験(留学生講演会)

富山高専では、両キャンパスの工学系の学科に14名の外国人留学生が学んでいます。本郷キャンパスには、3年生3人、4年生4人、5年生4人の11名が、射水キャンパスには、4年生2名、5年生1名の3名が学んでいます。出身国は、マレーシア、ベトナム、ラオス、バングラデッシュ、インドネシアの5カ国です。遠く祖国を離れ、気候や言語をはじめ、文化・風習の異なる日本で頑張っています。

学生会活動 新年度を迎えて

本郷キャンパス



Challenge!

学生主事
川淵 浩之

本校には学生の代表で組織された学生会があります。学生便覧によると、学生会の目的は、『学生の自発的な活動を通して、その人間形成を助長し、将来の社会生活の基礎を築くこと』となっています。学生会長を中心に、球技大会や高専祭などの行事の企画・準備・運営やあいさつ運動、献血ボランティアなどにも積極的に取り組んでいます。学生の活力が、そのまま学校の活力となることから、大変なプレッシャーの中で頑張っている学生会メンバーに感謝しています。何もしないで失敗しないより、何かチャレンジして失敗する方が自分達の財産になります(できれば小さい失敗にとどめてほしいのですが…)。頑張っている学生会を全面的に応援します。



第13回球技大会 学科対抗リレー(写真部撮影)



やりがいのある活動

学生会会長
大林 慎太郎

みなさん、学生会活動といえば何を思い浮かべるでしょうか。結構漠然としていて返答に困ると思います。学生会が主催となる行事としては、5月末の球技大会、6月の学生献血ボランティア、10月の合同球技大会などがあります。ただ今、学生会執行部では球技大会や、合同球技大会に向けての準備を精力的に行っているところです。それに加えて、みなさんからの要望を受け付ける活動も行っています。現在20人の執行部で様々な問題もある中、活動していますが、学生の快適な学生生活の実現のために行う活動はやりがいがあって、良い経験だなと実感します。これからも、小さな意見にもしっかりと耳を傾けて活動を行ってきたいと思います。



第3回高専祭(志峰祭) グランドフィナーレ(写真部撮影)

学生会年間スケジュール

4月	対面式
	あいさつ運動
	学生総会
5月	球技大会
	環境美化活動
6月	北陸地区高専大会壮行会
8月	全国高専大会壮行会
10月	あいさつ運動
	合同球技大会
	環境美化活動
11月	高専祭(北斗祭)
12月	学生会長選挙
1月	あいさつ運動
3月	学生会誌発行



クラブ活動紹介



リーダー研修会



学生総会



合同球技大会(写真部撮影)

平成24年度学生会執行部役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	大林 慎太郎	4E	体育局長	高橋 玄	4M
副会長	屋木 悠佑	3E	副局長	中川 尚大	3E
総務局長	神田 一真	4C	補佐	松田 立樹	3E
副局長	金 俊太郎	3C	文化局長	中田 優一	4M
書記渉外	竹村 沙友理	3M	副局長	野上 光博	3E
補佐	福澤 亮太	3E	広報局長	山口 千尋	4C
	江淵 文人	2E	副局長	古田 賢一朗	3M
	明 卓摩	2E	HP担当	島田 周作	4M
会計局長	山本 真莉那	4C	風紀局長	朴木 太郎	4E
副局長	栗本 将宏	3C	副局長	中本 翔	3E

射水キャンパス



礼の文化

学生主事
水谷淳之介

大相撲夏場所は37歳の平幕力士旭天鵬の感動的な優勝で幕を閉じました。しかしかつては同じモンゴル出身横綱が土俵上でガッツポーズをして品格を欠き、相撲道に反すると話題になりました。武道ではよく「礼に始まり礼に終わる」という言葉を聞きますが、これは最初と最後に礼をすればよいという意味ではなく、常に相手を尊重することだと思います。将棋の対戦で投了した(負けた)相手の前でガッツポーズするなどとは考えられないし、剣道の試合でもガッツポーズをすると、取った一本が取り消しになります。勝ち負けよりも礼を重んじるのが武道の精神です。このように負かした相手にも最後まで敬意の念を尽くす礼の文化を日本人として大切にしたいものです。



射水キャンパス球技大会



学生会活動の紹介

学生会会長
ムハマド・イリヤス・ビン・イスマイル

平成24年度の学生会は全24名で、執行部委員と各委員からなります。学生会は学生の代表として、学生と学校の架け橋になりたいと思っています。その他にも、学生主事室と連携して、学校の様々な行事の運営を担当します。例えば、射水キャンパス独自の球技大会や本郷キャンパスとの合同球技大会などの行事を通して、学校を盛り上げていきたいと思っています。特に北斗祭については、いつも以上に楽しめよう、北斗祭実行委員と協力している企画中です。また学生会は、校門指導、海浜清掃なども担当します。皆さんも、学生会と一緒に学校を盛り上げていきましょう。



カッターレース大会

学生会年間スケジュール

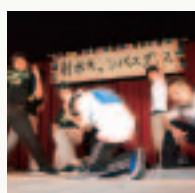
4月	対面式
5月	前期クラブ予算会議 生協総会
6月	球技大会と体育祭 校門指導 海浜清掃 自転車置き場点検とステッカーチェック(月1回)
7月	カッターレース大会
8月	全国大会壮行会
10月	合同球技大会 後期クラブ予算会議
11月	高専祭(北斗祭) 校門指導 海浜清掃
1月	学生会長選挙
2月	学生会誌発行



海浜清掃



校門指導



高専祭(志峰祭)



東日本大震災のための募金活動

平成24年度学生会執行部役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	ムハマド・イリヤス・ビン・イスマイル	D4	文化委員長	藤江 教順	NE4
副会長	浜谷 夢菜	K4	副委員長	坂本 香澄	D4
書記	坂田 結衣	I4	生協委員長	杉谷 勇斗	D4
	篠崎 雅	K3	副委員長	藤木 佑弥	D4
会計	竹中 円香	K4	風紀委員	保田 美奈子	K4
	門田 清香	K4	副委員長	沢田 耀一郎	NE4
総務委員長	長藏 彩乃	K4	体育委員長	大久保 和嗣	D4
副委員長	中澤 弘樹	D4	副委員長	金場 大輔	NE4
美化委員長	柳川 優子	I4		中島 美月	K4
副委員長	水谷 公輝	D4		三箇 佐和子	K3
文通委員長	笹川 大志	D4	北斗祭 実行委員長	齋藤 航大	NE4
副委員長	川嶋 克明	I4	実行委員	西尾 和準	D4

学生寮から 新年度を迎えて

仰岳寮(本郷寮生会)



ともに暮らして学ぶ

寮務主事
高熊 哲也

個室で空調完備、防音設備も施されたようなワンルームマンションのような居室は、学業に専念できる快適な生活空間を提供するかもしれません。現代の学生諸君のニーズを汲んで寮施設を充実させていくことも重要です。しかし、不便だからこそ知恵を出し合って工夫する、生活感覚や価値観(=文化、学生寮には留学生も暮らしています)の違うもの同士が折り合いをつけていく、そういったコミュニティに暮らした経験は、国際化が進行する社会で必ず活きるはずです。4月から寮務を担当し、多少規則にやかましく、古めかしくも感じる高専の学生寮は、実はこれから求められる人間力を養う基盤になっているのではないかと感じています。



新入生歓迎会



寮生活と寮生

仰岳寮総代
朴木 太郎

現在、富山高専本郷キャンパスの仰岳寮には計154名が1~4号館に生活しています。もちろん勉強が生活の大事な柱ですが、毎日の部活動や共同生活を通して、どの学年も楽しく日々を送っています。こんな自分たちの寮には行事がたくさんあります。球技大会や寮周辺の地域のゴミ拾いをするボランティア活動、さらに焼肉会やすき焼き会、餅つき会といった食事系の行事などです。行事は上級生が中心となり寮生全体で行います。通学生ではなかなか下級生と上級生が関わることはありません。そういった面で寮は様々な人と関わるができる素晴らしい環境にあると思います。いろいろなことに挑戦できる寮生活は、高専の魅力の一つだと思います。



清掃ボランティア

年間スケジュール

4月	新入寮生オリエンテーション、開寮 新入寮生歓迎会寮議会議
5月	寮生会総会、球技大会(第1回) 学生寮避難訓練
6月	ボランティア活動(町内清掃)
7月	焼肉会、寮関係後援会役員会
8月	部屋替え・寮内大掃除、閉寮(10日) 学寮だより第57号発行
9月	開寮(30日)
10月	相撲大会、仮装行列(高専祭(北斗祭PR))
11月	高専祭(北斗祭)、すき焼き会
12月	餅つき会、寮内大掃除、閉寮(20日)
1月	開寮(8日)、成人祝賀会 球技大会(第2回)、予餞会
2月	寮内大掃除、1~3年閉寮(22日) 学寮だより第58号発行
3月	4・5年・専攻科閉寮(4日)、「たいわ」第45号発行



仮装行列(高専祭)



みこしで出発(高専祭)



防火訓練



餅つき大会

寮生会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
総代	朴木太郎	4E	会計	松岡志織	4C
副総代	村田智明	3E	文化委員長	大林慎太郎	4E
1号館寮長	松岡志織	4C	体育委員長	水越隆仁	4E
副寮長	山口絵莉子	3C	厚生委員長	橋本 諭	4C
	栗原静佳	2C	規律委員長	神田一真	4C
2号館寮長	舟木翔太	4E	総会議長	高橋 玄	4M
副寮長	井田史哉	3M	会計委員長	川端清人	4E
3号館寮長	山村聖輝	4C	専攻科委員	佐藤弘規	1CK
副寮長	講武宏行	4E		蒲地貴也	2ME
4号館寮長	岡田一樹	5E	指導寮生	高橋 玄	4M
副寮長	田中大樹	5K		大林慎太郎	4E
留学生責任者	トゥアン	4E		舟木翔太	4E
総務	山口絵莉子	3C		橋本 諭	4C

和海寮(射水寮生会)



寮の経験は人生の財産

寮務主事
水本 巖

ゆとり教育や少子化の中、家庭では十二分に大切にされてきた世代が、高専1年生で入寮します。先輩へのあいさつや学年混合のある意味縦社会での共同生活が始まります。入寮日に保護者の方が帰り際、これから我が子が入室するであろう部屋を、外側の窓まで一生懸命に掃除しておられた様子が目に浮かびます。明日からは、掃除は元より洗濯まで自分でこなす日々になります。数カ月もすると、これらが当たり前の様に生活の一部になります。通学生と比べて一時的には我慢することもあるとは思いますが、将来この共同生活の体験が大きな財産となり、良き思い出になります。寮生一丸となってお互いが高めあう、寮を目指したいと思います。



新入生歓迎会



寮生自らがづくりあげる寮を目指します

寮生会長
村本 崇

寮生会長になったからには、投票してくれたみんなの期待に応えたいと考えています。

安村前寮生会長に現在の寮の基盤を作っていただいたため、自分はこれに手を加えていく形になると思います。そのため自分が目指す寮は「改革」ではなく「発展」です。

今は寮生会長になったばかりで右も左もわからない状態ですが、選挙の時に挙げた目標「自習の見直し」「学習時間の延長」「インターネット環境の見直し」の3つを達成すること優先して進めたいです。そのためには寮生全員の意識向上が必要です。未熟な会長ですがご指導、ご協力お願いします。



1年生の学習会

年間スケジュール

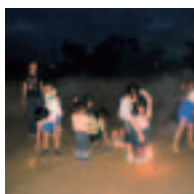
4月	開寮、入寮式、新入生オリエンテーション 新入生歓迎夕食会、寮防犯講習会
5月	寮内大掃除、閉寮 開寮(6日)、寮防犯訓練、テレビ登録点検 自転車登録点検、関西親睦会
6月	1年男子部屋移動、寮生会総会、寮生会長選挙 服装等校門指導、寮内大掃除
7月	寮生花火大会、北陸地区高専体育大会(本校) カッターレース大会(20日)
8月	5年生激励夕食会、寮内大掃除 課程修了(6日)、閉寮(6日)
9月	開寮(20日)、全寮棟部屋移動、寮内大掃除
11月	高専祭(北斗祭)、寮防犯訓練
12月	クリスマス会、閉寮(21日)
1月	開寮(8日)
2月	1・2年(28日)閉寮
3月	3・4年(1日)閉寮



点検



風呂掃除



近隣住民を招いての花火大会



クリスマス会

寮生会役員

役職	氏名	クラス
寮生会長	村本 崇	I4
副寮長兼2寮長	土屋 秀生	NE4
副寮長兼女子寮長	中山 詩菜	K4
企画委員長	上芝 未来	NE4
風紀委員長	義岡 慧亮	NE4
環境委員長	大久保 和嗣	D4
庶務委員長	高松 史	D4
女子フロア委員長	北 千美	I4
文集委員長	坪内 勇樹	I4
放送委員長	西田 悠	I4
3寮長	池崎 祥希	N3
会計	中脇 昂弥	I4
選挙管理委員長	沢田 耀一郎	NE4

新任教員紹介

■ New Teachers



射水キャンパス

電子情報工学科助教

伊藤 尚

新任のごあいさつ

この4月から電子情報工学科に助教として採用されました。3月までは新潟大学自然科学研究科(博士後期課程)に在籍しておりました。在学中はマルチエージェントシステムを用いた人工社会シミュレーションを主な研究テーマとしておりました。本校では学生時代からの研究テーマに加えてハードウェア面にも力を入れていきたいと思っております。まだまだ至らない点も多いと思いますが、学生のために学科のために学校のために一生懸命働きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



射水キャンパス

商船学科助教

篠島 司郎

陸に上がった河童

私は、昭和51年本校の母体であります富山商船高等専門学校を卒業し、今年の1月末まで、民間海運会社で機関長をしておりました。船員生活30年余、久しぶりに陸に上がった処、別世界が開けていたというのが現在の心境です。今後は、初心にかえり学生達と共に学びつつ、これまでの私の経験を少しでも学生達に伝えていければと考えています。1年生教員として一生懸命頑張りますのでご指導のほどよろしくお願い致します。



射水キャンパス

国際ビジネス学科准教授

萩原 信吾

新任のごあいさつ

はじめまして、萩原信吾と申します。前年度までは論理学を用いた法的推論に関わる研究を行っていました。論理学とは人の思考や議論といったものを形式的に表現し、計算可能な形にしたものです。その研究していた法的推論とは、この論理学を用いて法律の矛盾を自動で検出する研究でした。議論や人の考えはある程度論理学を用いて数学的に捕らえることができます。一見曖昧にしか考えられないと思われるものも、数学的にとらえることが可能で、また形式的に計算できることを知ってもらえたらと思っています。



射水キャンパス

商船学科助教

眞岩 一幸

着任にあたり

4月1日付で富山高専に着任しました。これまで、大学院にて博士号取得後、研究員として主に海洋管理に関する研究業務を行い、その後、民間企業で海洋への物質の拡散などの環境評価の業務を行ってまいりました。大学院時代からの希望は、専門的な機関で教育を行うことで、これがようやく叶いました。高専は大学に引けを取らないほど潜在能力の高い学生が多いので、今後、さらに社会に受け入れられることを夢見て、そのための手伝いができればと思っています。皆様ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

学級担任一覧

本郷キャンパス

第1学年	機械システム工学科	電気制御システム工学科	物質化学工学科	
第2学年	瀬戸 薫	河原 治	足立剛子	
第3学年	高越義一	長谷川貴之	富田 尚	
	太田孝雄	池田慎治	米谷 正	
第4学年	機械工学科	電気工学科	物質工学科	環境材料工学科
第5学年	井澤正樹	金子慎一郎	中島栄次	高柳真里子
	白川英観	藤崎明広	峰本康正	尾山由紀子
専攻科	エコデザイン工学専攻	機能材料工学コース		
	機械・電気システム工学コース	袋布昌幹・畔田博文		
	高田英治・石田文彦			

射水キャンパス

第1学年	電子情報工学科	国際ビジネス学科	商船学科	
第2学年	櫻井秀人	西原雅博	近藤周吉	
第3学年	大橋千里	松原義弘	三輪 誠	
	的場隆一	モアナス チャールトンビル	千葉 元	
第4学年	商船学科	電子制御工学科	情報工学科	国際流通学科
第5学年	笹谷敬二	石田弘樹	山口晃史	岡本勝規
	経田偉昭	早勢欣和	秋口俊輔	海老原毅
実習生	河合雅司			
専攻科	制御情報システム工学専攻	国際ビジネス学専攻	海事システム工学専攻	
	由井四海	宮重徹也	山本 桂一郎・河合雅司	

Toyama Kosen News&Topics

ニュース&トピックス

専攻科学生が小水力垂直 3連水車を開発・特許を申請



校長室での伝達式



テレビ局からの取材

専攻科2年の工藤佑馬君をリーダーとする両キャンパスの学生グループが、「垂直3連水車」による小水力発電装置を開発し特許を申請しました。工藤君らが開発した装置は、3月18日、岐阜県郡上市美並町で行われた「第1回小水力発電コン

テスト」での優勝と、市民投票による「地域貢献賞」をダブル受賞しました。現在、県内企業の協力を得て実用機の製作に向けた準備を進めており、新聞やテレビでも報道されました。

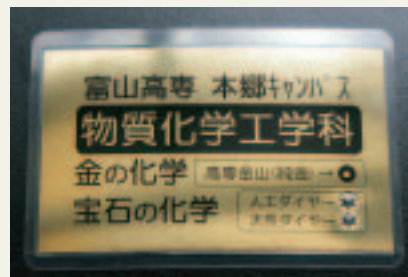
タイ・キングモンクット工科大学 ラカバン校から短期留学生を受け入れ



ウエルカムパーティの一コマ

4月17日、射水キャンパスは、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から2名の短期留学生を受け入れました。今回の受け入れは、国立高等専門学校機構とキングモンクット工科大学ラカバン校との包括協定に基づき、中部日本海高専共同による学生交流の一環として行われたものです。留学生は約1カ月間、国際ビジネス学科の指導教員のもと、自身の研究テーマである農業経営に関する日本の現状等について研究しました。

黄金週間(GW)にゴミから黄金を 取り出す中学生向け公開講座 「金の化学」を開催



持参したゴミから採り出した「純金」の付いた「金のカード」

5月1日、本郷キャンパスにて、金について化学実験を交えて学ぶ中学生向け公開講座「金の化学」が開催されました。「宝石の化学シリーズ」には、金のほかプラチナ、ダイヤモンド、ヒスイ、エメラルド、ルビーなどがあり、人気を博しています。

公開講座については、ホームページの「イベント情報」もご覧ください。

1st International Symposium on Energy for Sustainable Society (1st ISESS)開催

3月27日(火)、北陸電力株式会社本社ビルにて「第1回持続可能な社会に必要なエネルギーに関する国際シンポジウム」が開催されました。

平成23年度日本英語検定協会 「優秀団体賞」受賞

4月14日、英検成績優秀団体選考委員会において、射水キャンパスが、昨年度の「文部科学大臣賞」に続き、「優秀団体賞」に選定されました。

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。(http://www.nc-toyama.ac.jp/)

表紙撮影：古山彰一准教授(コト部顧問)

Editor's room 編集後記



生の姿をより生き生きと伝えるため、「高専通信」は、発行回数を1回増やし、年3回発行することになりました。

「高専通信5号」は、毎年4月から新鮮な気持ちでスタートする富山高専の姿をお知らせする号です。「富山高専の今」を保護者の皆様にお伝えできるよう、学生の手稿や写真を増やし、読みやすい誌面とす

ることを目標にしました。原稿依頼から発行までの時間が短い中、編集にご協力いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

今後も「高専通信」をより良いものにするため、ご意見・ご要望などがございましたら、広報戦略室までお寄せいただければ幸いです。

広報戦略室長 青山 晶子

問い合わせ先

本郷キャンパス : 〒939-8630
射水キャンパス : 〒933-0293

富山県富山市本郷町13番地
富山県射水市海老江線合1番2

TEL 076-493-5402
TEL 0766-86-5112

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

富山高等専門学校

OPEN CAMPUS 夏季オープンキャンパス 2012

夢みる力をつくる力へ

本郷キャンパス

8月20日(月)・21日(火)

午前の部 9:00～11:40、午後の部 13:00～15:40

射水キャンパス

8月22日(水)・23日(木)・24日(金)

9:00～11:40

OPEN CLASS オープンクラス概要 各学科のどちらかのコースを選択してください。

本郷 機械システム工学科

- コース1 体験!! 3次元CAD(キャド) ～コンピュータでのものづくり～
- コース2 電子顕微鏡でミクロの世界を見てみよう

本郷 電子制御システム工学科

- コース3 電気を見る ～オシロスコープでおもしろ実験～
- コース4 ロボカーの冒険 ～ロボットカーでラインを追跡～

本郷 物質化学工学科

- コース5 流れを見てみよう
- コース6 表面と界面の不思議な世界を体験しよう!!

射水 電子情報工学科

- コース7 自分の声を目で見てみよう
- コース8 ロボットの頭脳とは～LEGOを使ったプログラミング実験～
- コース9 はじめての電子工作
- コース10 ネットワークで遠隔操作しよう

射水 国際ビジネス学科

- コース11 異文化について学ぼう

射水 商船学科

- コース12 若潮丸体験航海と洋上授業

射水 一般教養科

- コース13 Let's speak English at Kosen (高専で英会話をしましょう)
- コース14 Enjoy English! (やさしい絵本と1年留学経験者からのお話)
- コース15 国語の教科書を読みなおす～「走れメロス」は盗作?～



申込・お問い合わせ

本郷キャンパス学務課

TEL 076-493-5498 FAX 076-493-5488
E-mail: gaku@nc-toyama.ac.jp

射水キャンパス学生課

TEL 0766-86-5145 FAX 0766-86-5130
E-mail: nyushi@nc-toyama.ac.jp

School Calendar 学年暦

月	本 科	専 攻 科	学 外 行 事
4	入学式 新入生オリエンテーション 定期健康診断	入学式 前学期授業開始 始業式 定期健康診断	
5	1年生合宿研修 校内球技大会(本郷)	交通安全講習会 校内球技大会(本郷)	
6	前学期中間試験 前学期末試験(7・8月)	推薦入試・学力入試 前学期末試験(7・8月)	
7	保護者懇談会(本郷)	校内球技大会(射水) カッターレース	北陸地区高専体育大会(6・7月) 全国商船高専漕艇大会(カッター部門) 全国高専体育大会
8	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	
9	卒業式(商船学科) 後学期授業開始	保護者懇談会(射水) 修了式(海事システム工学専攻) 後学期授業開始	
10	県外工場見学(4年生) 日帰り研修(2年生)	合同球技大会 消防訓練	プログラミングコンテスト(全国大会) ロボットコンテスト(東海北陸地区大会) 全国商船高専漕艇大会(ヨット部門)
11	第4回高専祭(北斗祭) 後学期中間試験	企業研究会 第4回高専祭(北斗祭)	ロボットコンテスト(全国大会) デザインコンペティション(全国大会)
12	冬季休業(12・1月)	冬季休業(12・1月)	
1	推薦入試	学習到達度試験(3年生)	
2	後学期末試験 卒業研究発表会	終業式 学力入試	英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)
3	卒業式(商船学科を除く)	リーダー研修会 修了式(海事システム工学専攻を除く)	

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。